2011年1月号
News
No.83

特定非営利活動法人
都市生活コミュニティセンター
〒663-8231 西宮市津門西口町7-3
tel 0798-36-6679 fax 0798-36-5114

新年あけましておめでとうございます

特定非営利活動法人都市生活コミュニティセンター
理事長　佐々木京子

私の目指すものは「グループリビング」

「高齢者専用賃貸住宅の管理運営」を行ったこの2年を振り返ってつくずく感じたこと、9年前に都市生活ヘルパーステーション「あしすと」を立ち上げた頃の熱い思いがふつふつと甦ってきました。住み慣れた地域の中で、必要とする援助を活用しながら自分の意思で行動できる生活。世話するのも世話されるのも普通になる生活を目指していました。

私たち「あしすと」のメンバーの到達点は、互いのコミュニケーションを基盤として住み合う「共同居住」です。その暮らし方は、比較的元気な高齢者が自発的に、高齢期の自立支援や生活支援などを目的として仲間とともに一つ屋根の下で助け合って生活することです。従来の子ども家族への依存を中心とした生活に変わる新たな高齢期の暮らし方です。高齢者自身が、高齢化による身体機能の低下と一人暮らしの不安を考慮し、従来家族が行ってきた調理や清掃、食事を共にするといった家族の無償の行為を共同化・合理化して、一つ屋根の下で共同で住まう居住形態です。

しかし、居住者同士が共同で行う調理や掃除は加齢とともに、支援が必要になってきます。入居者の加齢にみあった生活支援サービスが選択できる体制を整えなければなりません。調理や掃除といった生活支援サービスから将来的な介護支援まで含めた生活支援サービスを利用しながら自立した生活が送れるように幅広い支援体制のシステムをつくることが必要です。

「あしすと」の実践能力と「都市生活コミュニティセンター」の頭脳を駆使して実現に向けて邁進してまいります。

あしすと Report

垂水　都市生活コミュニティセンターが管理運営を受託しているソーシャルコート神戸北にサービス提供責任者として訪問して感じることは、一日のうちで人と全く接することなく終わる…なんて日は無い‼です、在宅の場合、ヘルパーは週に何度か援助で訪問するだけで、家族も離れており、外出も難しい状態ならなおさらです。「一日、誰とも会わず、声も出さず過ごしている。このままでは声が出なくなるのでは？と怖くなり、大きな声で一人で歌っている…」などと悲しい事を仰る方もいます。ソーシャルコートでは食事の度にロビーに降りれば入居者さんやヘルパーさんにも会えるし話もできます。誕生会や歌声サークルやボランティア喫茶、買い物ツアーもあります。自分の家で過ごしたい…のはもちろんでしょうが、ソーシャルコートで寂しさや不安が軽減されのでは…？（廣瀬久美子）

武庫之荘　年齢を重ねると、日の過ぎるのが早いように感じます。若い時は、何事も初体験なので時間がゆっくり過ぎる印象があり、歳を重ねると「慣れ」の感覚でさっと過ぎる感じになるらしい。「はじめて味わうドキドキ感」が少なく、ちょっとさみしい気がします。一年に一つずつ「新しくはじめる何か」を加えれば、年月をゆっくり味わう楽しみになるのではないだろうか。ある本に面白い事が載っていました。歳を重ねると先の計画がたてやすいと言うのです。逆算して、残り人生が読めるのだそうです。段々に（いや元々かな）働きの悪い脳細胞とガタのきかかった身体に「ドキドキ感」と言う、潤滑油を差しながら 楽しく味わいながらの計画を立てましょうか？うまくいくのもよし、うまくいかぬもよし…で。（立川マチ子）

ひょうご県民ボランタリー活動賞受賞

ふれあい喫茶「すまいる」

あの阪神・淡路大震災から 16 年。

全国の友好生協から寄せられたカンパ金を元にスタートした仮設住民への救援として行った即売青空市。仮設住宅解消後は形態を変え HAT 神戸の復興住宅での住民同士の交流を目的に始めた毎週開催の『ふれあい喫茶』を継続してきた地道な活動が認められ、「ひょうご県民ボランタリー活動賞」を受賞しました。12 年間、毎週、ふれあい喫茶「すまいる」を雨の日も風の日も祝日も欠かさず続けてきた活動が認められた事は、喜びと共に大きな励ましとなりました。

いま喫茶には高齢者だけでなく、乳幼児を連れた若い親子の参加もあり、赤ちゃんから高齢者まで多世代交流の場として定着し、この地域の皆さんの憩いの場となっています。この受賞をお客様に報告したところ、「ず～と頑張って続けてくれたもんね、ありがとう、自分の事みたいに嬉しいな～」「わしはここにくるのだけが楽しみじゃ他はどこも行かん、いつまでも来てや～」「一週間ってアッという間やね、じゃあまた来週ね～」と大変喜んでいただきました。

スタッフはいつもギリギリでピンチの時もありますが若いママもスタッフに入ってくれていますし、この受賞で続けていけるパワーを戴けました。すまいるの笑顔で出来る限り頑張っていきますので、みなさん！応援よろしくお願いします。

またスタッフの参加も月 1 回でも OK! 大歓迎します。

（ふれあい喫茶「すまいる」・岡部眞紀子）

ひょうご県民ボランタリー活動賞表彰式。（2010 年 10 月 16 日・兵庫県立有馬富士公園にて）

毎週水曜日に HAT 神戸の復興住宅で開催されているふれあい喫茶「すまいる」。

第 14 期養成講座修了

ミュージックセラビーグループハーモニー

11 月 7 日・21 日・12 月 5 日の 3 日間、「～地域ボランティアのための～第 14 期ミュージックセラピスト養成講座」を開講しました。

当初は応募人数が少なく、一時は開講が危ぶまれましたが、最終的に聴講生を含めて 7 名の参加者がありました。

最終回の 12 月 5 日には、講座の会場のソーシャルコート神戸北で、場所を提供して頂いたお礼の意味を込めてのセッションを行いました。18 名の入居者の皆さんにご参加いただき、楽しく喜んでいただけたとのことです。

今期の修了生の中から、新たに 4 名のメンバーを、ハーモニーの仲間として迎え入れることになりました。

Information

『1.17 手づくり市民追悼のつどい』

2011 年 1 月 17 日（月）10:30 ～ 12:30

神戸市婦人会館 5 階「さくら」

神戸市中央区橘通 3-4-1

JR 神戸駅下車徒歩 10 分

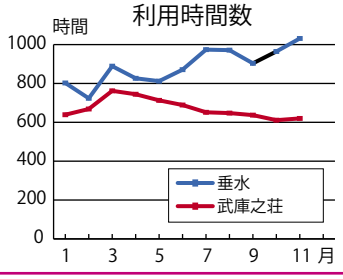
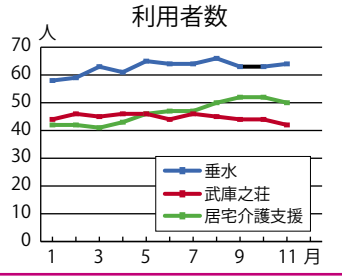
ヘルパー募集中（2 級以上）

都市生活ヘルパーステーション あしすと武庫之荘

06-6433-8487

都市生活ヘルパーステーション あ・し・す・と（垂水）

078-755-1455

2010 年度☆介護保険事業報告

●現在、「あ・し・す・と（垂水）」「あしすと武庫之荘（尼崎）」の 2 つの事業所を拠点に生活クラブ都市生活組合員が中心となってヘルパー派遣事業、障害福祉サービス事業を行っています。●武庫之荘では居宅介護支援事業（ケアプラン）も行っています。